



農業機械部品などを一貫生産

主な事業内容

農業機械部品の精密機械加工、板金加工、溶接、研削、組立

主な取引先(納入先)

農業機械メーカー

主な製品

エンジン、トランスミッションなどの農業機械部品

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイトインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応

株式会社 廣野鐵工所

社員満足度を追求する 農機部品メーカー

業務内容

農業機械向けエンジン 部品などを一貫生産

廣野鐵工所は、農業機械や産業機械、油圧機器向けの部品生産を手がける。終戦直後の昭和20年に、大阪府堺市で金属加工業として創業した。翌年に始まった久保田鐵工所(現クボタ)との取引が、現在も主力事業として継続している。

平成29年に新設・移転した大阪府岸和田市の本社工場は、エンジンやトランスミッションといった重要部品の精密機械加工から、板金加工、溶接、研削、組立まで一貫したもののづくりを実現している。工場は本社のほかに、栃木県宇都宮市に1カ所、中国に3カ所を構え、日本向けのほか、中国や米國などのグローバルニーズに添っている。

強み

月800種の多品種少量生産で多能工を育成

300g~100kg程度の部品を月に約800種類製造する、多品種少量生産を強みとする。生産の準備である「段取り替え」や加工時間を短縮して、生産効率を向上するために、若手からベテランまでが協力して改善活動に取り組む。廣野幸誠社長は「経営の感覚を

持たせる」との考えから、生産現場を30以上のグループに分けて毎月一人あたりの収支を算出する。

また、廣野社長は社員を「何でもできるプロの多能工に育てる」として、ベテラン社員に60歳以降も働き続けてもらい、機械の修理や加工、測定といった熟練技能を若手に継承し、人材を育てる取り組みも採り入れている。

企業理念

社員の満足なしに 会社は成長しない

廣野社長は「働く社員の満足なしに、良いものづくりはできず、会社は成長しない」との思いから、福利厚生に力を入れる。昼食は「大阪で一番の社食」と自負するメニューを、実質無料で提供し、社内にはフィットネスルームも備える。

年3回の賞与は現金で手渡しし、地元産のお米や野菜、肉などを社員のほか地域の取引事業者などにも配る。毎年の社員旅行は、目的地への行き帰りをそれぞれの社員が自由に楽しむ「現地集合、現地解散」の方式で、10年に一度はハワイを訪れる。企業理念・経営ビジョンでは「顧客満足度の向上」よりも「社員満足度の向上」を上位に置く徹底ぶりだ。

社長あいさつ



代表取締役 廣野 幸誠さん

農業機械部品の精密機械加工から組立まで幅広くかつ一貫して手がける、創業76年のものづくり企業です。300台以上の機械を備え、月産約800品目の多品種少量生産に対応する本社工場と、平成12年設立の中国工場(上海)がグローバルニーズに応えます。

主な保有設備

- マシニングセンタ 62台
- NC旋盤 49台
- 研削盤 14台



住所 / 〒596-0817 岸和田市 岸の丘野3-2-8
TEL / 072-479-1877
FAX / 072-479-2772
創業 / 昭和20年12月
設立 / 昭和25年11月
資本金 / 3,850万円
従業員 / 135名



昼食は実質無料の社員食堂



300台以上の機械が並ぶ本社工場



<https://hirono-iwc.co.jp/>